

第 12 回（2025 年度）澤柳記念 DEI 賞

受賞課題

A 賞：澤柳記念 DEI 賞 1 件

課題名	女性医師・研修医・医学生の消化器外科領域への参画を促進し、活躍の場を広げる
受賞者	消化器外科女性医師の活躍を応援する会
受賞理由	<p>この会は、女性医師・研修医・医学生の消化器外科領域への参画を促進し、女性消化器外科医のキャリアの継続、活躍の場を広げることがを目的に 2015 年に発足しました。代表の河野氏は過去 5 年間の 114 万件もの外科手術の内容を調査し、男女の外科医が執刀する手術の内容に明らかな性差による差別的配置があることを示し、医学系の英文学術誌に発表しました。これは、男女間の外科医のスキルやポストに差を招くことは明白で、女性外科医の処遇を均等にすることを目標とした「函館宣言」を発するに至るなど、医学界に大きな影響を与えました。</p> <p>会則に「すべての女性消化器外科医が、妊娠・出産・育児、介護、自身の疾病などキャリアを継続する上で障壁となりうるライフイベントを克服し、自ら望むキャリアを達成することを積極的に支援する」とあり、会のロゴのエーデルワイスや女神アテネの持つ防具に由来する会の愛称などからも、この会が次世代にバトンを渡すことに愛と情熱をもって活動されていることが強く伝わってきました。</p> <p>また男性医師の巻き込みや、消化器外科領域全体での、技術力、研究力を高めていくための全国規模の活動を展開するなど、社会に対するインパクト、将来性、継続性も十分見込めることから、澤柳記念 DEI 賞にふさわしい活動として高く評価いたします。</p>

B賞：澤柳記念 DEI 奨励賞

課題名	「性をまじめにオープンに！」を理念に、性に関する様々なテーマについてのイベント開催や、情報発信を行う
受賞者	東北大学性を考えるサークル AROW
受賞理由	<p>当団体は、「学内に安心して性を話せる場を作る」、「日本に充実した性教育を定着させる」ことを目的に、2018年8月に発足しました。性に関する様々なテーマについてのイベント開催や SNS 上での発信等を通じて、正しい知識や安心できる居場所を学内外に提供することを目指しています。</p> <p>具体的な活動として、性教育や LGBTQ+、ジェンダー格差など「性」に関する話題を幅広く扱う学習会・交流会の開催、DEI 関連の研究交流会の開催のほか、「みやぎにじいろパレード」にも毎年参加するなど、情報発信や地域交流を積極的に進めています。学内にて行った性自認に関するアンケート結果は東北大学 DEI に関するシンポジウムで公開し、それを基に東北大学における「多様な性に関するガイドライン」策定に際して提言を行いました。さらには、仙台市の関連制度導入の場でも意見を求められるなど、公的機関・団体における DEI 施策の推進にも大きく貢献しています。</p> <p>受賞者がこれまでに上記のような優れた成果を挙げていること、また今後も団体の活動が継続し、発展していくものと見込まれることから、澤柳記念 DEI 奨励賞として顕彰し、今後の一層の成果と活躍を期待いたします。</p>